

<令和7年度分 特筆すべき取り組み一覧> 全7件（8施設）

取組No.	施設名	取り組み件名	講 評
1	福島市市民活動サポートセンター	学生連続企画講座「福島駅前を改革せよ！」	学生目線で調査から提案までの一連のプロセスを通じて将来のまちづくり人材の育成に大きく寄与した取り組みである。多様な主体を巻き込み、駅前活性化に向けた具体的な道筋を提示した点は高く評価できる。次年度2期生を加えて本提案がさらに具現化することを期待する。
2	アクティブシニアセンター	スタジオジブリに関するイベントの開催	著名人の招へいと人気コンテンツを組み合わせ、広域からの来街動機と継続的にぎわいを創出した優れた取り組みである。トークショーでは高い関心を集め、展示事業との連動により施設の滞在性や回遊性を向上させた点が高く評価できる。メディア効果も含め、本市の魅力向上に大きく寄与した。
3	道の駅ふくしま	拠点観光ツアー企画	自社の観光部門との連携により、物販・観光・体験を組み合わせた一体的な誘客モデルを確立した有意義な取り組みである。地域の歴史や文化をストーリーとして発信し、周辺施設への周遊を促すことで地域全体の活性化に大きく貢献した点が高く評価できる。今後もこの強みを生かした継続的な観光振興を期待する。
4	ヘルシーランド福島	公式LINEの導入による各種サービスの提供	公式LINEの導入により、緊急時の即時配信やプール等の混雑状況、予約機能等の機能を集約し、利用者が適時適切に情報を入手できる環境を構築した点が評価できる。また、施設への問い合わせが減少し、業務効率化につながった点も高く評価できる。今後のさらなる登録者増加と活用に期待する。
5	春日町デイサービスセンター	ICTによる健康管理・業務効率化の推進	ICT導入によるデータの一元管理と事務削減を両立し、ケアの質向上に繋げた優れた取り組みである。介護人材が不足する中、職員の負担軽減や業務の標準化に効果的なモデルを示した点が高く評価できる。他施設への横展開も含め、今後の継続的な運用に期待する。
6	市営住宅等	「美筋ヨガイストラクター」による健康体操教室	通常の住宅管理業務にとどまらず、付加価値の高いサービスを提供している点が高く評価できる。団地住民のコミュニティ活性化や孤独・孤立解消を図るとともに、安心して暮らせる住まいづくりの推進に寄与した。今後のさらなる実績の積み上げと事業の発展を期待する。
7	十六沼公園体育館・十六沼公園スポーツ広場・十六沼公園テニスコート	プール水を散水として活用	プール水を有効活用することで、両施設が抱える課題を同時に解決した優れた取り組みである。中央市民プールでは適正な水温調整を図り、十六沼公園スポーツ広場では砂埃対策と水道代節約を両立させた点が高く評価できる。単一施設にとどまらない、連携による効率的な運営事例として今後も期待する。
	中央市民プール		

【No.1】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	福島市市民活動サポートセンター
指定管理者名	特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

○特筆すべき取り組みの概要

【目的】

企画立案から提案までの一連のプロセスを経験させることで若者の人材育成を図るとともに、若者の自由な視点を福島市のまちづくりに活かすことを目的とする。

【取組内容】

学生連続企画講座「福島駅前を改革せよ！」※架空のミッション

開催：令和7年10月～3月 全10回

メンバー：福島市在住の学生5名（高校生1名、短大生1名、大学生3名）

福島駅前活性化のための企画・提案に向けて、毎月1～3回程度企画講座を開催。

メンバー間の話し合いだけでなく、企業から外部講師を招致しての意見交換や、商店街への聞き取り、市民の声を反映させるため福島駅前でのアンケート調査（SNSも活用）を実施。

学生たちの企画は「企画発表会」において関係者に向けて提案し、行政や駅前商店街関係者、企業等から様々な意見をもらう機会を創出した。

なお、今年度は企画立案から提案までを事業の到達点と位置づけ、次年度は2期生を加えて、本提案の実現に向けて検討していく予定である。

<メンバーが企画した内容>

- ①福島ユナイテッドFCの広報活動強化 … 駅前のホームタウン色創出、Good day marketとコラボ
- ②駅前の魅力発信 … 駅周辺のマップ作成、学生の街歩き推進企画 など

【効果】

メンバーの地域への愛着心が高まり、企業や商店街など多様な社会と繋がったことは、若者の経験値と自信を高める有意義な機会となった。また、企画発表会には市長や福島商工会議所、福島市商店街連合会、福島ユナイテッドFCなど総勢30名を超える関係者が出席し、各界からの助言を得たことで今後の課題が明確になり、実現に向けてメンバーの意欲も高まった。さらに、各種メディアに報じられたことで、本事業の関心を高めたとともに、ふくサポの周知にも繋がった。

以上のことから、本事業は福島市の次世代人材の育成推進に寄与したものと考えている。

○取り組み状況等が分かる画像等の参考資料

【講座での話し合いの様子】



【企画発表会の様子】



【学生連続講座】

メンバー募集

福島駅前を改革せよ！

※架空のミッションです

福島駅前活性化プロジェクトと題して、仲間と一緒に福島市を盛り上げる架空のイベントを企画してみませんか。

内容次第では実現に向けて動き出せる！？かもしれません…

初回 **10月17日(金) 18:30～20:00**

※月1回、全4～5回開催予定

会 場：福島市市民活動サポートセンター

(福島市大町4-15 チェンバおおまち3階)

対 象：福島市内の高校・専門学校・短大・大学に通う学生

※企画・運営に興味のある方、何か新しいことに挑戦したい方、自分を高めたい方、福島市を盛り上げたい方大歓迎！

参加費：無料

定 員：10名程度

その他：アドバイザーがサポートします。※最終回：プレゼン

申込み：応募フォーム・電話・窓口にて受付します。

問合せ：福島市市民活動サポートセンター TEL024-526-4533

氏名

所属(学校名・学年)

住所 〒

電話番号

E-mail

↓ 応募フォーム ↓



【No.2】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ
指定管理者名	株式会社福島まちづくりセンター

○特筆すべき取り組みの概要

【目的】

著名人（鈴木敏夫）および人気コンテンツ（スタジオジブリ）を活用し、市内外からの来街動機を創出するとともに、文化的関心の醸成と中心市街地におけるにぎわい創出及び滞在機会の拡大を図る。

【取組内容】

アオウゼ創立15周年記念事業として、令和7年10月25日にプロデューサー鈴木敏夫氏によるスペシャルトークショーを開催するとともに、これに連動した「スタジオジブリ映画ポスター大集合展」及び「中川李枝子さんと福島市展」を10月1日から11月1日まで実施した。単発の催事にとどまらず、一定期間の展示事業と組み合わせることで、来館機会の分散と継続的な集客を図る複合的な文化イベントとして展開した。

【効果】

トークショーには定員の約11倍にあたる約2,000人の申込みがあり、トークショー当日急遽準備したパブリックビューイング100人を含む計316人が参加するなど、高い関心と集客力を示した。また、全国からの応募や市外来訪も見られ、広域からの来街動機の創出につながった。また、関連展示には4,884人が来場し、期間を通じた継続的なにぎわいを創出したほか、来場者によるメッセージカードが250枚寄せられるなど満足度の高さがうかがえる。加えて、テレビ・新聞等での報道により情報発信効果も生まれ、本市の魅力向上と交流人口の拡大に寄与した。

○取り組み状況等が分かる画像等の参考資料

別紙のとおり

○取り組み状況等が分かる画像等の参考資料

「スタジオジブリ プロデューサー鈴木敏夫さん スペシャルトークジブリとの40周年」



「スタジオジブリ映画ポスター大集合」展



「中川李枝子さんと福島市」展



新聞記事



【No.3】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	道の駅ふくしま
指定管理者名	株式会社ファーマーズ・フォレスト

○特筆すべき取り組みの概要

道の駅ふくしま 拠点観光ツアー企画

【目的】
福島の魅力発信及び観光誘客の促進を目的に実施。
当施設を拠点としたツアー造成により、道の駅ふくしまへの立ち寄りを組み込み、周辺観光への波及と福島全体の魅力発信につなげる。

【取組内容】
弊社観光部門えにシトラベルとの連携による観光ツアー企画『ふくしまシルクロードツアー（開催日：9/15～17・2/20～21）』において、ツアー行程に道の駅ふくしまへの立ち寄りを組み込み、休憩・買い物機能に加え、地域産品や観光情報の発信拠点として活用した。
また、施設内での物販・飲食利用の促進に加え、観光案内機能を通じて周辺観光地への誘導を実施。
周辺観光施設と連動したルート設定とすることで、点から線、さらに面での周遊を意識した導線を構築し、地域全体への送客につなげた。
更に、ツアーを通じて福島歴史・文化・産業をストーリーとして発信し、参加者の理解と満足度向上を図った。
（※関連企画『ふくしま絹の道（開催日：10/11～13）』『ふくしま絹の道デジタルスタンプラリー』も実施）

【効果】
道の駅ふくしまを拠点とした立ち寄りにより、来訪機会の創出と施設利用の促進につながった。
また、周辺観光との連動により、地域内での周遊促進に寄与した。
更に、本取組は当施設を拠点とした観光導線の有効性を示すとともに、物販・観光・体験を組み合わせた一体的な誘客モデルとして、今後のツアー造成や観光施策に活かせる内容となっている。

○取り組み状況等が分かる画像等の参考資料

関連チラシ



ツアー企画開催状況



【No.4】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	ヘルシーランド福島
指定管理者名	公益財団法人福島市振興公社

○特筆すべき取り組みの概要

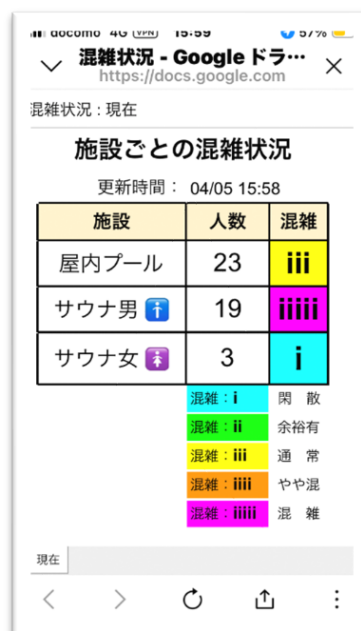
公式LINEの導入による各種サービスの提供

- 【目的】 緊急時や独自情報を迅速かつ確実に届ける体制を強化するため、ヘルシーランド福島公式LINEを立ち上げ、魅力的で即時性の高い情報発信し、利便性の向上と利用促進を目的とします。
- 【取組内容】 令和7年7月15日から運用開始。週1～2回程度の配信（年間約100回）を行い、イベント・水泳教室・講座の情報発信、イベント直前のリマインド、営業カレンダー（Googleカレンダー連携）、臨時休館の即時配信に加え、プール・サウナの混雑状況の発信、イベント申込サイトへの誘導、公式HPへの案内などを実施しました。
- 《実施回数》 メッセージ数 61種類-7691通（うち開封 5601通）
- 《登録者数》 268名（R8.3.31時点）
- ※男性54%、女性46%で、40代後半から50代の登録が多い。
- 【効果】 以前は、急な臨時休館等の情報が手に入りにくいとのご意見がありましたが、現在は様々な情報を即時に発信できるようになり、利用者からは「必要な情報がすぐ届く」と好評を得ています。また、プール・サウナの混雑状況をリアルタイムで確認できるサービスは利便性が高く、「空いている時間を狙って来館できて快適」とのお声もいただいています。実施前は入室人数の確認電話が多数ありましたが、現在は日に1件程度に減少し、業務の効率化にも繋がっています。
- さらに、講座や水泳教室の申込が公式HPを経由せず簡単に行えるようになり、手続負担の軽減と参加率向上につながりました。加えて、定期的な配信により施設情報への接触機会が増え、イベント参加や教室利用のリピート促進、若年層・子育て世帯への情報到達の拡大にも寄与していると考えられます。
- なお、スマートフォンの操作に不慣れな高齢者の方々には、窓口等で職員が対面で丁寧にご説明し、利用方法の理解を支援しています。また、利用促進に向けては、イベント時に公式LINEの紹介チラシを配布するなど、周知の取り組みも併せて実施しています。

○取り組み状況等が分かる画像等の参考資料

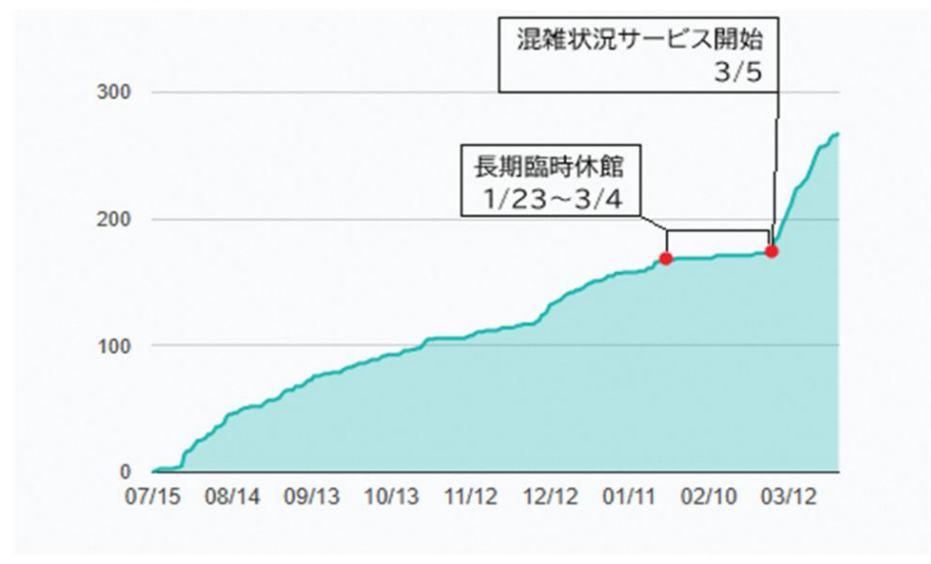


健康講座配信/メニュー



プール・サウナの混雑状況

友だち追加



友だち追加の状況

【No.5】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	福島市春日町デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人創世福祉事業団

○特筆すべき取り組みの概要

【目的】

ICTによる健康管理・業務効率化の推進

・顔認証による健康管理・運営データの自動管理・自動記録が可能なシステムを導入し、業務効率の向上と利用者の負担軽減、サービスの質の向上を図る

【取組内容】

- ・顔認証による利用者の出欠確認、血管情報、心肺情報、体温の一括測定を実施する
- ・測定データの個別管理、自動記録による一元管理を実現する
- ・蓄積データ分析による「普段との違い」を知らせるアラーム機能を活用する
- ・健康管理以外の情報（入浴、食事量、活動への参加等）の記録をする
- ・個人管理のデータをもとに、家族等への連絡帳機能を活用する

【効果】

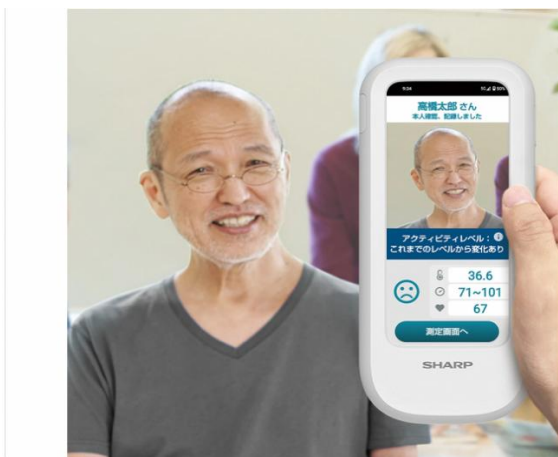
顔認証（非接触）測定により利用者、職員の負担を軽減する。測定データの自動取得・自動管理・自動記録により、職員の事務作業の削減、データ入力や転記による誤記、欠落の低減が期待できる。顔認証での自動測定と過去のデータからの異常感知機能により、看護師以外の職員でも普段との違いに気づき迅速な対応が可能となる。

データは自動記録され、連絡帳の作成までサポートされるため職員の負担軽減、標準化、属人化の解消、業務効率が見込まれる。

この取り組みによって利用者との関りが増え、より質の高いサービスの提供に繋げることを目指す。今後、連携システムの拡充も想定し、運用を検討・整備していく。

○取り組み状況等が分かる画像等の参考資料

i-wellebenによる、顔認証測定



非接触ヘルスケアセンシング&クラウドサービス

i-wellebe
アイウェルビー

法人向け 見守り/運動管理ソリューション

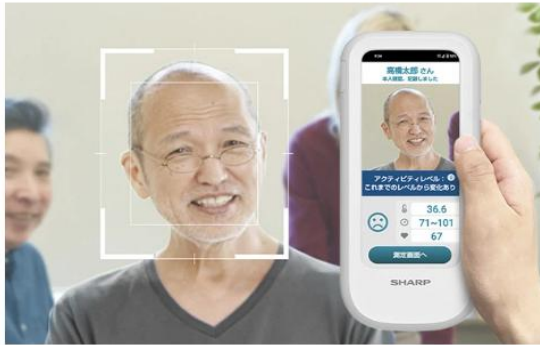
「顔認証（出欠確認）」と同時に「血管情報」「心拍情報」※1「温度」※2を約5秒※3で一括測定し、クラウド上に自動記録

> 仕様

● 本システムは見守り/運動管理を目的としたものであり、医療目的（疾病の診断・治療・予防等）の使用はできません。



特長



当社独自の非接触ヘルスケアセンシング技術により、顔認証（出欠確認）と同時に「血管情報」「心拍情報」※1「温度」※2を約5秒※3で一括測定が可能



測定データはクラウド上に自動記録され、データ分析により「普段との違い（アクティビティレベル）」※4をお知らせ

画像はイメージです



【No.6】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	福島市営住宅
指定管理者名	(株) トーネット

○特筆すべき取り組みの概要

【目的】

高齢者世帯と若年者世帯のふれあいをすることによって地域活性化をうながす。団地内の共同生活を送る世代間交流があることで助け合いの精神が生まれるきっかけづくりになる。

在宅でもできる健康体操を実施することで、健康寿命の重要性を認識してもらうことができる。

【取組内容】

「美筋ヨガインストラクター」による健康体操教室(実施団地: 1 団地、実施回数: 4 回、参加者: 48 名)
※各団地の集会所設置団地の中から健康教室を是非実施してみたいという希望団地へ、プロのインストラクターをお呼びして開催。(令和 7 年 4 月 1 日現在の団地数: 52 団地、集会所設置数: 24 件)

また、有資格者(看護師)による無料の健康相談も同時開催。

【効果】

30代～90代と幅広い世代からの参加希望があり、本来の目的でもある健康体操はもとより、世代間交流の場所を構築することができた。

若者や働いている現役世代が参加しやすい土曜日に開催したこともあり、団地内でも顔を合わせる程度だった様々な年齢層の交流ができた。

健康相談を通して、高齢の方がひとりで悩まず話せる環境の整備に貢献できた。今後も体操教室や健康相談を継続してほしいとの声が多数あり、次年度も継続して開催する予定。

○取り組み状況等が分かる画像等の参考資料



【No.7】特筆すべき取り組み状況報告書

施 設 名	十六沼公園スポーツ広場・中央市民プール
指定管理者名	公益財団法人福島市スポーツ振興公社

○特筆すべき取り組みの概要

【目的】

<現状>

- ①十六沼公園スポーツ広場散水用の山水が渇水しているため、グラウンドに散水ができず砂埃が起き近隣住宅等に多大な支障をきたしている。
- ②温暖化によりプールの水温基準（競泳競技推奨水温25～28℃）を上回っている。

対策として、中央市民プールの水温調整（換水）により排出されたプール水を散水車で運搬し、十六沼公園スポーツ広場で散水用の水として活用した。砂埃防止、水温調整、水道水の節約などの目的を達成した。

【取組内容】

中央市民プールの排水を4トン散水車に入れ十六沼公園スポーツ広場及び受水槽へ搬送して散水を行う。（1日約3回）

【効果】

十六沼公園スポーツ広場の防塵効果に繋がり、山水の涸れによる影響を軽減することができた。中央市民プールでは、適宜換水を行うことができることで水温調整に繋がった。

○取り組み状況等が分かる画像等の参考資料

